

会議結果報告書

令和4年5月11日

1 会議日時	令和4年5月2日
2 場 所	議員全員協議会室
3 件 名	高校魅力化プロジェクトの推進
4 出席者	市長、副市長、教育長、各部長級職員、総務課長、財政課長、政策推進課長、政策推進課関係職員、まちづくり推進課長
5 会議結果	<input type="checkbox"/> 案のとおり決定する <input type="checkbox"/> 一部修正の上、決定する <input type="checkbox"/> 継続して検討する <input type="checkbox"/> 案を否決する <input checked="" type="checkbox"/> 報告を了承する
6 会議内容	<p>●公営塾は塾生がいる限りは続けるように検討をすること。</p> <p>●公営塾の業務を担っている地域おこし協力隊の課題などは無いか。</p> <p>→三瓶、野村などで活躍している。希望があれば、卒業後もフォローできるような体制を協議、検討している。</p>

備考：会議内容を簡潔に記載すること

重要計画付議(報告)書

令和4年4月22日

部課名(まちづくり推進課)

1 件名	高校魅力化プロジェクトの推進
2 計画の概要	<p>西予市内にある県立高等学校の入学者は定員に満たない状況が続いており、今後、市内県立高校の存続が懸念されている。市内の教育環境の衰退は、若者の流出や移住の阻害要因となり、人口減少を加速度的に進める恐れがある。</p> <p>令和2年度に西予市内県立高等学校魅力化推進協議会を設置し、将来の県立高校の在り方及び高校の特色化・魅力化についての検討を行うほか、各校委員会や各校WG、公営塾ネットワークを組織し、それぞれの目的に応じた協議検討を行うこととしている。</p> <p>市では、魅力化を進める手段の一つとして令和2年9月から三瓶分校に、令和3年7月から野村高校に公営塾を設置し運営を行っている。令和4年度には宇和高校に設置予定としている。</p> <p>また、愛媛県県立学校振興計画の策定が進められており、その動向を見極めつつ市内高等学校の在り方の方向性を確定させる必要がある。加えて、三瓶分校においては、令和5年度からの募集停止が現実的となり三瓶の子どもたちに対するサポート体制を整えていく必要があり、それをきっかけとして市内全体の支援を検討していく。</p>
3 関係法令等	-
4 関係課	-
5 その他	-

備考：計画書を付議又は報告する場合に使用

高校魅力化プロジェクトの推進

【現状・背景】

西予市内にある県立高等学校の入学者は定員に満たない状況が続いており、今後、市内県立高校の存続が懸念されている。市内の教育環境の衰退は、若者の流出や移住の阻害要因となり、人口減少を加速度的に進める恐れがある。

また、愛媛県県立学校振興計画の策定が進められており、その動向を見極めつつ市内高等学校の在り方の方向性を確定させる必要がある。加えて、三瓶分校においては、令和5年度からの募集停止が現実的となり三瓶の子どもたちに対するサポート体制を整えていく必要があり、それをきっかけとして市内全体の支援を検討していく。

【これまでの取組内容】

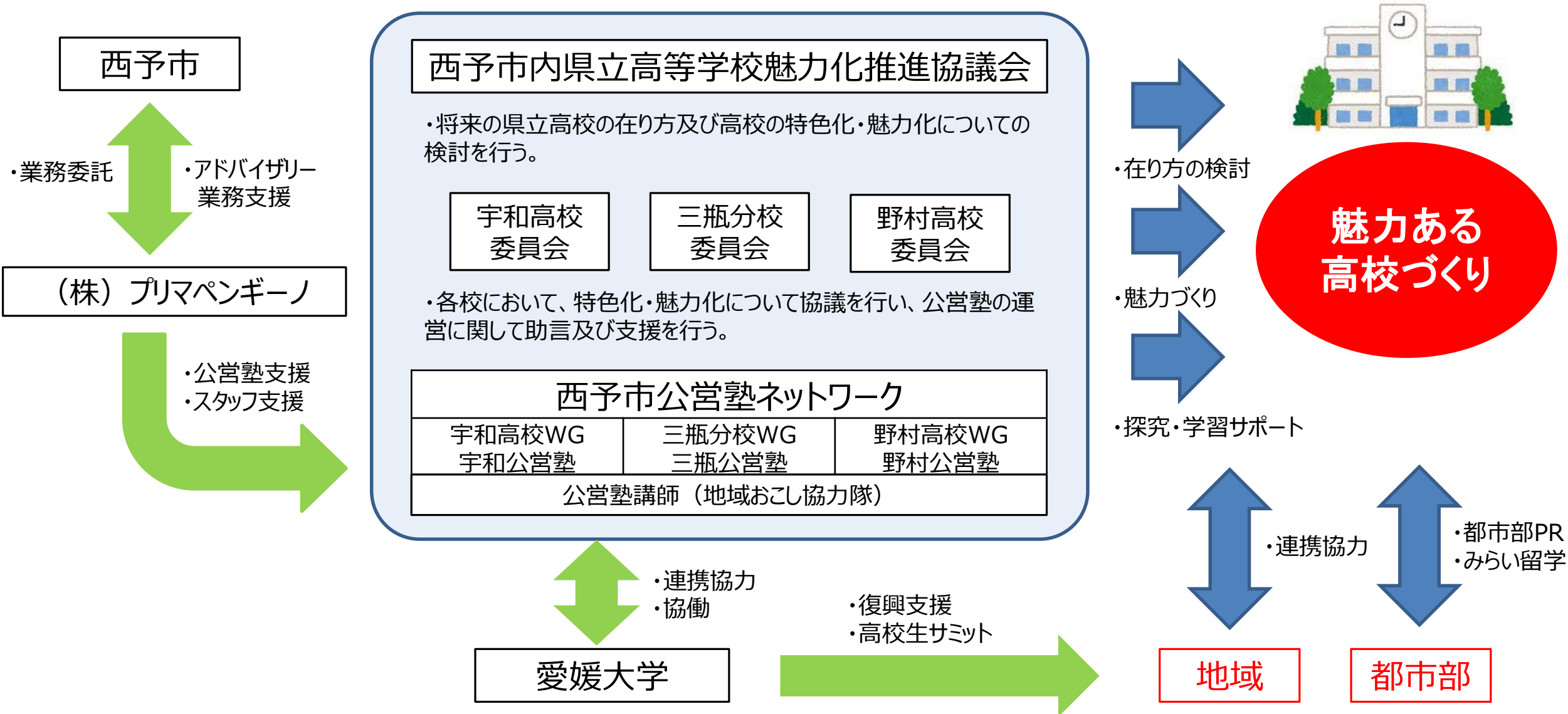
●令和2年度

- ・市内県立高校の在り方を検討するため「西予市内県立高等学校魅力化推進協議会」を設置。
- ・三瓶分校では地域おこし協力隊制度を利用して、学習支援などを行う講師雇用し公営塾運営を開始。

●令和3年度

- ・それぞれの高校の魅力を検討するため、各校委員会を設置。
- ・公営塾講師を3人に拡充し取組を拡大。令和3年7月から野村高校で公営塾運営を開始。
- ・令和4年度からの宇和高校への公営塾設置を検討。

高校魅力化プロジェクトの推進



市内県立高等学校の入学者数シミュレーション

【県立学校振興計画】計画期間：令和5年度～令和14年度

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
宇和高校	72人	76人	73人	84人	72人	71人	62人
	通常校の場合						
	魅力化推進校の場合						
	※宇和+三瓶	89人	86人	94人	83人	80人	72人
三瓶分校	15人	13人	13人	10人	11人	9人	10人
		●募集停止の可能性		廃校の可能性			
野村高校	60人	56人	39人	55人	49人	51人	49人
	通常校の場合				●募集停止または統合の可能性		
	魅力化推進校の場合						

※令和4年度は出願者数

※令和5年度以降は、市内中学生の地元高校選択率及び高校の地域外から入学する生徒率により算出

高校魅力化プロジェクトの推進

【公営塾の取組】

●市内高等学校の魅力化を図り、人口流出の抑制と移住定住の促進を図ることを目的に、市内の高等学校に在学する生徒を対象として高等学校と連携し地域資源を活用しながら、一般学力の向上と共に思考力・主体性・多様性等を備えた人材を育成するため、令和2年9月から西予市版公営塾事業を開始。

【三瓶・野村公営塾】

- 名称：三瓶公営塾C-LAB（シーラボ）、野村公営塾あやぐも塾
- 講師：3人（地域おこし協力隊）三瓶と野村を兼務
- 塾生：三瓶9人、野村7人 計16人 ※4/1時点
- 開塾日：三瓶（月・水・木）、野村（火・金）の放課後から21時まで
- 塾費：1回500円で月額上限3,000円（三瓶）、2,000円（野村）

【宇和公営塾】

- 令和4年度に設置を検討中



公営塾スタッフ
(地域おこし協力隊)



齊藤 湧太 隊員



土居 千草 隊員



岡島 弘幸 隊員

高校魅力化プロジェクトの推進

【今後のスケジュール】

検討課題等	推進スケジュール											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
・推進協において高校の在り方を検討し、方策の方向性を探る。				在り方の議論				方向性の検討			方向性の確認	
・各校委において在り方についての意見集約 ・各校の魅力化・特色化の検討	各校委開催											
・県教委の動向に関する情報収集	-											
・三瓶公営塾(探求学習プログラムとの連携)	塾運営、WG会議開催(月1回定例)											
・野村公営塾(各進路に対応した学習プログラムとの連携)	塾運営、WG会議開催(月1回定例)											
・宇和公営塾(設置に向けた検討)	スタッフ募集・開塾準備							開塾(予定)				
・市内公営塾ネットワーク会議	2~3か月に1回程度開催											
・公営塾スタッフの確保	-											
・高校生企画事業の具現化(料理コンテスト)	第1回	第2回	第3回			第4回	イベント実施	第5回				